

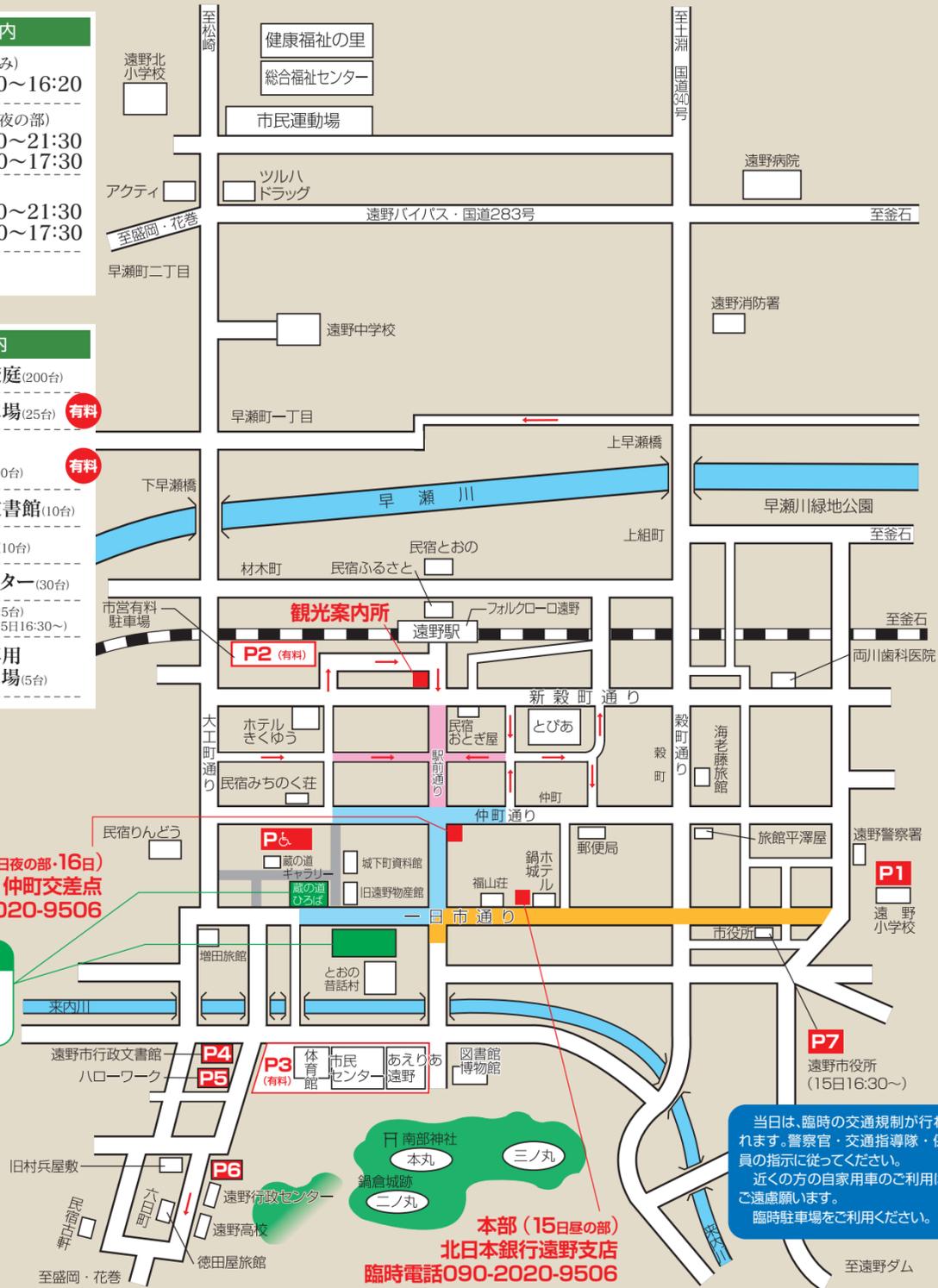
遠野市街地周辺マップ

- 交通規制案内**
- 15日(昼の部のみ) 10:30~16:20
 - 15日(昼の部~夜の部) 10:30~21:30
 - 16日 10:00~17:30
 - 15日(夜の部) 16:30~21:30
 - 16日 10:00~17:30
- 一方通行

- 駐車場案内**
- P1** 遠野小学校校庭(200台)
 - P2** 市営有料駐車場(25台) **有料**
 - P3** 市民センター 有料駐車場(100台) **有料**
 - P4** 遠野市行政文書館(10台)
 - P5** ハローワーク(10台)
 - P6** 遠野行政センター(30台)
 - P7** 遠野市役所(25台) (15日16:30~)
 - Pも** 身体障害者専用 下一日市駐車場(5台)
- P** 無料臨時駐車場
P 有料駐車場

本部 (15日夜の部・16日) 仲町交差点
臨時電話090-2020-9506

憩いの広場
郷土芸能団体との記念写真や南部ばやしの山車・神輿を見られます。



当日は、臨時の交通規制が行われます。警察官・交通指導隊・係員の指示に従ってください。近くの方の自家車のご利用はご遠慮願います。臨時駐車場をご利用ください。

ひとくち解説

神楽
遠野の神楽は、神人(しんと)神楽と山伏神楽の系統で伝承されている。神人派は、ゆるやかなテンポで優美さがあり、山伏派は、早くて躍動感があります。神楽の発生は、神への鎮魂儀礼(みたまふり)に発するといわれ、祭りに行うのは、古代信仰の名残です。

南部ばやし
代表的な町方の踊りで、祭礼にお供する山車のはやしです。遠野南部22代直栄が、寛文初年(1661)ころ、遊芸師に命じて、京都の「紙園ばやし」を参考に遠野郷の特色を入れて生み出した遠野独特の町方の踊りです。おはやしは、笛、太鼓、つつみ、三味線が調和し美しく、踊りは、あでやかで優美です。

太神楽
幕末のころ伊勢から伝えられたといわれています。オカメ倉松という太神楽の名手が伝承に力を尽くし、今の太神楽に伝わっている町方踊りの一つです。

しし踊り
遠野郷のしし踊りは、群舞型の踊りです。背にはカンナガラ、前には幕を垂らして踊る「帯踊り系しし踊り」と言われています。起源は相当古く明らかではなく、約3百数十年前に踊られていたと伝えられています。はげしいリズムで踊るさまは、男壮そのもので、遠野を代表する郷土芸能です。また、太鼓踊系鹿踊の行山流もあります。

田植え踊り
いつころ遠野に入ってきたかは明らかではありませんが、古くから農民の農作物の豊作予祝として踊られていたようです。歌曲、舞い方ともに優雅にして静的で、笛、太鼓は明るい雰囲気です。

さんさ踊り
素朴な中にも、きびきびとした動作は、熟練を要する踊りです。即興性と明るい民謡調の踊りとして伝えられてきたようです。踊り手は大勢であれば何人でもよく、太鼓と笛の音に合わせて踊りながら丸く輪をつくらせ、輪になりながら踊ります。

遠野まつり

永遠の日本のふるさと



ふるさとを想う心はひとつ。

遠野まつり

日本のふるさと TONO PESTA

笑顔あふれる岩手へ。
元復興
がんばろう岩手!

平成24年	神々のいざない	(オープニングセレモニー)	11:00~11:30	市役所
9月15日 [土]	神々の集結	(郷土芸能パレード)	11:30~16:00	市役所・一日市通り
	神々の叫び	(郷土芸能共演会)	17:00~21:00	駅前通り
9月16日 [日]	神々との出会いふれあい	(交流の舞台)	10:00~13:00	蔵の道ひろば
	神々との共演	(まちなかの回り舞台)	12:00~16:00	駅前通り
	神々への感謝	(エンディングセレモニー)	16:00~16:30	駅前通り

※都合により時間を変更する場合があります。

【主催】日本のふるさと遠野まつり実行委員会

【お問い合わせ先】遠野市商工観光課 TEL0198-62-2111 / 遠野市観光協会 TEL0198-62-1333 / 本部臨時電話 TEL090-2020-9506

【遠野市ホームページ】http://www.city.tono.iwate.jp/